

科目区分	専門分野	授業科目	地域・在宅看護概論
講師名	隈部直子、中本稔、山根優子、 長野敏女、山本悠策	開講年次	1 年次 第 2 学期
単位数（時間）	1 単位（30 時間）		
授業概要 * 講師からのメッセージ	「地域と暮らし」で知った地域の実情を踏まえて、実際に地域で働いている専門の講師とともに、地域包括ケアシステムにおける看護師の役割を一緒に考えていきましょう。		
目的：地域で暮らす療養者と家族を総合的に理解し、地域包括ケアシステムにおける看護師の役割を学ぶ			
目標： 1. 地域看護学における在宅看護の位置づけと看護師の役割が理解できる			
2. 地域・在宅看護を支える法令や制度を知り、在宅看護におけるケアマネジメントが理解できる			
3. 在宅看護を受ける対象者とその家族の特徴、リスクマネジメント、権利保障について理解できる			
回	授 業 内 容		
1 (保健師)	地域看護学と在宅看護 地域看護学における在宅看護の位置づけ、地域包括ケアシステムについて		
2	地域・在宅看護の目的と特徴 1. 地域・在宅看護のめざすもの、その人らしい暮らしを支える 2. 地域・在宅看護における看護師の役割		
3	地域・在宅看護の対象者 地域・在宅の療養者の特徴（年齢、疾患、障害、要介護度、在宅療養状態別）		
4	地域・在宅看護の対象者 地域・在宅看護の対象者としての家族（家族システム理論、家族看護エンパワーメント）		
5	在宅療養の支援 1. 在宅看護の提供方法 外来看護、訪問看護、看護小規模多機能型居宅介護、施設看護、通所サービスでの看護		
6 (地域連携室)	在宅療養の支援 2. 療養の場の移行 1) 患者・家族の意志決定支援と調整 2) 退院支援・退院調整 3) 入退院時における医療機関との連携 4) 入退所時における施設との連携		
7 (MSW)	地域・在宅看護にかかわる法令・制度とその活用 介護保険制度、医療保険制度、障害者総合支援法		
8 (MSW)	地域・在宅看護にかかわる法令・制度とその活用 難病法、医療介護総合確保推進法、医療法、公費負担医療		
9 (訪問看護師)	地域・在宅看護にかかわる法令・制度とその活用 訪問看護の制度、訪問看護サービスの提供		
10 (ケアマネージャー)	ケアマネジメントと社会資源の活用 1) ケアマネジメントの概念 2) ケアマネジメントの過程 3) 社会資源の活用とサービスの調整 4) 介護保険と医療保険・障害者総合支援法との関連		

1 1 【演習】	ケアマネジメントと社会資源の活用 ケアプラン作成
1 2 (地域連携室)	地域・在宅看護における多職種連携 連携の特徴、医師との連携、地域の社会資源との連携、ネットワークづくり
1 3	在宅看護における療養上のリスクマネジメント 転倒・転落、熱中症、窒息、火災防止、誤薬防止、感染防止、災害への対応
1 4	地域・在宅看護における権利保障 個人の尊厳、自己決定権、成年後見制度、虐待の防止
1 5	地域・在宅看護における権利保障 個人情報の保護、看護師の守秘義務
1 6	1 時間（45 分）：終了試験
授業方法	講義、演習
評価方法	筆記試験（90％）ケアプラン作成課題（10％）
テキスト	医学書院：系統看護学講座 在宅看護論
備考	既習関連科目：地域と暮らし